

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立大浦小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	43.0	45.0	9.0	2.0	
問2	英語科の勉強は大切だ。	83.0	13.0	2.0	2.0	
問3	英語科の授業の内容が分かる。	36.0	60.0	4.0	0.0	
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	36.0	49.0	13.0	2.0	
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	40.0	49.0	8.0	4.0	
問6	アルファベットの大文字が書ける。	85.0	11.0	0.0	4.0	
問7	アルファベットの小文字が書ける。	87.0	8.0	2.0	4.0	
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	72.0	21.0	6.0	2.0	
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	40.0	42.0	11.0	8.0	

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	51.2	31.6	13.1	3.0	1.2
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	55.1	28.6	11.9	3.3	1.2
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	51.2	31.6	13.1	3.0	1.2

②指導改善の具体策

【英語科】 ・昨年度と比較し「英語の勉強が好きだ」という問いに対して「そう思う」と解答した児童が増加しているが、「英語の授業が分かる」では「そう思う」が減少している。楽しさだけを重視するのではなく、理解を深められるようスモールステップで授業を進める。 ・英語で聞いたり答えたりすることができたと肯定的に捉えている児童が多いので、引き続き会話を重視した単元構成を考えていく。 ・文字に関しては、抵抗感をもたないように文字に触れる機会も作っていく。 【デジタル科】 児童自身の自己評価はおおむね高いが、ICTを活用して学習する場面は現段階ではあまり多くない。教職員の研修を充実させると共に、ICTを活用した単元計画をたて、日常的にICTを使えるようにしていく。また、毎週水曜日をクロムブック持ち帰りの日と設定し、ICTを活用した個別学習の幅を広げ、様々な場面でICTを利活用できる児童の育成を目指す。

③学校関係者評価

・たくさん声に出して英語をたくさん使い、コミュニケーション能力を高めてほしい。 ・これからの時代を生きていく児童にとって、メディアの活用は必要不可欠である。低学年の内からICTに触れさせていきたい。同時にインターネットトラブルやSNS等での人権侵害などの問題もあるので、利用の仕方について家庭とも連携して取り組んでいくとよい。
--